NTTファシリティーズ①

NTTグループへの貢献実績をベースに環境・エネルギーソリューションを展開

環境と企業経営をマネジメントする「Green Integration」

建物の企画・設計から維持管理、情報通信システムを支える高信頼電源システムの開発・提供など、情報環境を構築する「総合エンジニアリング・サービス企業」として、IT・エネルギー・建築の融合技術により、環境性と経済性の両立を目指した新時代の環境・エネルギーソリューションを提供しているNTTファシリティーズ。同社はこれまで、

- NTTグループ全体の省エネルギー活動である「トータルパワー改革運動」を通して、エネルギー使用効率の高い電源装置・空調装置の開発・導入、保守運用における省エネルギーや購入電力の抑制を推進し、2005年度で約1.7億kWhの電力削減を実現。
- 太陽光発電、風力発電など、これまでに全国で318システム約5,580kWのクリーンエネルギーシステムを導入（平成18年度末現在）。
- 通信施設で利用している約4万組の蓄電池の更新時における鉛資源の100％リサイクル実施。
- NTTグループが制定する「建物グリーン設計ガイドライン」に基き、環境に優しい建物設計に取り組んでおり、地球環境に優しい空間を提供するとともに、環境に配慮した良質な建築のストック形成、建物運営における低コスト化に貢献。

など、多くの成果を上げてきた。

NTTファシリティーズでは、これまでNTTグループに貢献してきた実績・ノウハウを活かし、環境に配慮した建物、設備及びエネルギーのプランニングからデザイン・構築・運用・改善までをトータルでマネジメントする環境トータルマネジメントサービス“Green Integration”を提供している。

NTTファシリティーズが展開する“Green Integration”は、図1に示すように、環境経営支援、環境負荷低減、環境リスク対策をトータルにマネジメントするサービスで、「地球環境と企業経営の未来への貢献」をキャッチフレーズにしている。

地球温暖化対策、温室効果ガス削減に対する社会的な要望がますます高まっている現在、環境対策が企業社会的評価を高め、企業価値の向上につながることは間違いない。その際重要になるのが、互いに関係し合うリスク、コスト、環境対策を組み合わせた最適解であり、Green Integrationはこれに応えるサービスとして、注目を集めている。

現在、NTTファシリティーズでは、顧客、地域社会、そして地球環境にも貢献する各種ソリューションを提案し、より多くのステークホルダーと多様な価値を創造していくことに注力している。その中で、特に

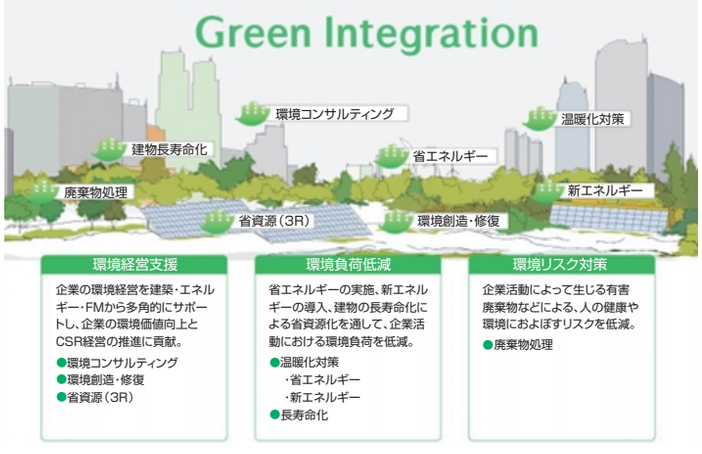

図1　Green Integrationのサービスメニュー

新ビジネスとして注目を集めているソリューションとして、以下の4つがあげられる。

・太陽光発電システム

後述するメガワットクラスのクリーンな電力を供給するメガソーラ事業をはじめ、太陽光発電システムの構築を通して、新エネルギーの導入を推進している。

・CASBEEを活用した建築物の環境負荷低減設計

建築物の環境性能を「環境負荷削減」「環境品質、性能向上」の２面から評価・格付けするCASBEE（建築物総合環境性能評価システム）によって、全ライフサイクルにわたり環境負荷低減を可能にする環境共生型建物の提案を行っている。

・エネルギー効率の低いオフィス・工場等の省エネコンサルティング

光・熱・水・電気のムダを徹底的になくすため、ビルをきめ細かく診断し、省エネ化に向け電力設備の統廃合や空調設備の効率化、高効率変圧器の導入、契約電力の低減、製品レベルの省エネ対策などの改善提案を行う。ビル丸ごとの省エネ診断が可能である。

・マンション電力供給サービス

NTTファシリティーズが電力会社等から高圧電力を一括購入し、マンション居住者に対し、電気会社の料金より５％程度安い料金で電力を提供するサービス。

新エネルギーとしての太陽光発電に注力

NTTファシリティーズは、太陽光、風力、燃料電池、バイオマスなどの発電技術に取り組んでいるが、中でも特に力を入れているのが太陽光発電である。

㈱NTTファシリティーズ
エネルギー事業本部　技術部
担当部長　**田中　良**氏

図２　山梨県北杜市の太陽光発電事業（パース図）

写真１　長野県佐久市「環境省メガワットソーラー共同利用モデル事業」第１次設置工事例

エネルギー事業本部技術部の田中良担当部長は、「私どもでは、自然のエネルギーを活用する再生可能エネルギーの中でも、太陽光発電の導入は重要な施策と考え、積極的に取り組んでいます。」と語る。

太陽光発電に関しては、NEDO技術開発機構（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託事業として「大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究」を山梨県北杜市で実施しているほか、環境省の「メガワットソーラー共同利用モデル事業」を高知県と長野県佐久市で推進するなど、新たな取組みも進めている。

山梨県北杜市での実証研究では、系統への安定供給の研究に加え、現在主流である結晶系太陽電池や、最新の薄膜系太陽電池、化合部半導体太陽電池など、国内外を問わず世界中の先進的な太陽電池モジュール（パネル）を導入し、信頼性、安定性の検証や運用評価を2010年度まで行うこととなっている。また、設置工法や架台、エネルギー集光方法の検証や経済化の検証も行う。

「メガワットソーラー共同利用モデル事業」では、３カ年で1MWの太陽光発電システムの構築を目指している。佐久市と高知県はそれぞれ事業主体となる有限責任事業組合（LLP）を地元企業によって設立したが、NTTファシリティーズは両LLPに参画し、環境事業による地域活性化に貢献している。

お問い合せ先
㈱NTTファシリティーズ
エネルギー事業本部
TEL：03-5444-2596
E-mail：tanaka3s@ntt-f.co.jp
URL：http://www.ntt-f.co.jp